

研究者
紹介

私の研究

動物研究部 脊椎動物研究グループ

たじま ゆうこ

田島 木綿子 研究員



⑧ 2003年3月2日福井県小浜市
オウギハクジラ オス 474cm



⑨ 2008年1月24日
京都府京丹後市
オキゴンドウ オス 207cm



⑩ 2012年3月24日鳥取県鳥取市
ハンドウイルカ メス 300cm



⑪ 2003年5月5日島根県江津市
ミンククジラ オス 441cm



⑫ 2000年3月22日
山口県下関市
ユメゴンドウ オス 232cm



⑬ 2002年2月20日福岡県津屋崎町
オウギハクジラ オス 462cm



⑭ 2002年12月13日
佐賀県伊万里市
ハセイルカ メス 221cm



⑮ 2014年7月4日長崎県時津町
スナメリ オス 110cm



⑯ 2004年5月24日熊本県水俣市
カツオクジラ オス 745cm



⑰ 2002年7月26日鹿児島県川内町
タイハイヨウアカボウモドキ
メス 650cm

この種はこの個体が発見されるまでは、科博の「世界のクジラポスター」では点線で記載されているほど解明されていない種でした。今ではポスターにイラストが掲載されています。

⑱ 2011年8月9日
沖縄県座間味村
シワイルカ オス 208cm

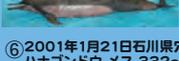


この個体は、離乳したてでうまく餌が食べられずに衰弱死してしまったようです。病気が観察されませんでした。

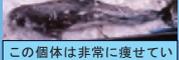
⑳ 2001年1月27日山形県由良町
ゴマフアザラシ メス 98cm



㉑ 2003年2月24日新潟県能生町
ハンナギイルカ オス 178cm



㉒ 2001年1月21日石川県穴水町
ハナゴンドウ メス 332cm



この個体は非常に痩せていて、子宮内膜炎から敗血症になり死亡しました。

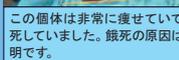
㉓ 2012年4月14日富山県富山市
カマイルカ メス 173cm



㉔ 2008年2月15日
北海道島牧町
オウギハクジラ
オス 479cm



㉕ 2001年1月9日
青森県野付町
オットセイ オス192cm



この個体は非常に痩せていて餓死していました。餓死の原因は不明です。

㉖ 2001年6月23日秋田県八幡町
ツチクジラ メス 1049cm



㉗ 2003年3月30日愛媛県興居島
スジイルカ オス 230cm



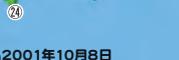
㉘ 2001年10月8日
宮崎県宮崎市
オガクワッコウ オス
227cm



㉙ 2002年2月20日
大分県豊後高田市
コブハクジラ オス 425cm



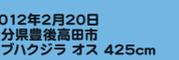
㉚ 2002年6月5日香川県栗島
ツノシマクジラ メス 710cm



㉛ 2012年9月7日徳島県鳴門市
イチョウハクジラ オス 467cm



㉜ 2009年4月24日
岡山県笠岡市
ザトウクジラ メス 760cm



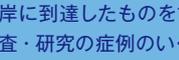
㉝ 2007年5月26日
兵庫県たつの市
スナメリ メス 70cm



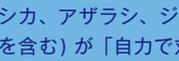
㉞ 2001年6月1日兵庫県津名町
ナガスクジラ メス 962cm



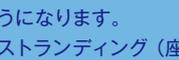
㉟ 2001年6月1日兵庫県津名町
ナガスクジラ メス 962cm



㊱ この個体は、事故により腰椎を骨折し脊髄断裂により後肢麻痺になり、最終的に網に絡まり死亡しました。



㊲ 2007年3月4日大阪府貝塚市
スナメリ オス 191cm



㊳ 2005年2月14日北海道羅臼町
シャチ オス 765cm



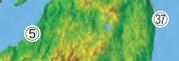
㊴ 2013年10月15日
宮城県東松島市
スナメリ メス 105cm



㊵ 2002年5月9日福島県相馬市
ミンククジラ メス 580cm



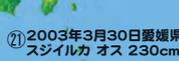
㊶ 2015年4月10日茨城県鉾田市
カズハゴンドウ オス 255cm



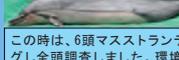
㊷ 2012年2月14日千葉県銚子市
コビレゴンドウ オス 345cm



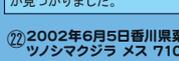
㊸ 2013年10月11日
東京都品川区
イワンクジラ メス 1236cm



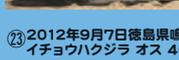
㊹ 2012年1月2日
神奈川県小田原市
ザトウクジラ オス 687cm



㊺ 2013年5月26日静岡県沼津市
コマッコウ オス 294cm



㊻ 2013年6月19日愛知県田原市
シワイルカ オス 245cm



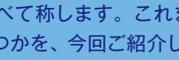
㊼ 2006年1月10日三重県津市
マッコウクジラ オス 417cm



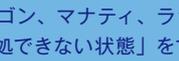
㊽ この個体は、生まれただてでしたが、胃重積が観察されました。



㊾ 2007年3月4日大阪府貝塚市
スナメリ オス 191cm



㊿



㊿

㊿



㊿

㊿



㊿



㊿



㊿



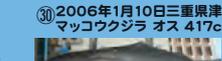
㊿



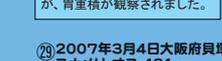
㊿



㊿



㊿



㊿



「ストランディング個体を活用する！」

ストランディングとは、一般的に生死を問わずに海岸に到達したものをすべて称します。これまでの調査・研究の症例のいくつかを、今回ご紹介いたします。レスキューする場合、海棲哺乳類(クジラ、イルカ、アシカ、アザラシ、ジュゴン、マナティ、ラッコなどを含む)が「自力で対処できない状態」をすべてストランディングと呼びます。細分化すると以下のようになります。

●ストランディング(座礁): 生きたまま海岸に乗り上げて身動きがとれない状態

- ピーチング(漂着): 死体が打ち上がった状態
- マスストランディング(大量座礁): 母と子以外の複数の個体が座礁または漂着した場合
- ライブストランディング(生存漂着): 動物が生きている場合
- デッドストランディング(死体漂着): 動物が死んでいる場合
- 迷入: 本来の棲息域をこえたところで発見された場合
- 混獲: 人間が使用する漁具などにかかった場合

私の研究は...

再び海へ戻っていった変わり者の哺乳類である彼らの身体の構造を追及しています。特に後ろ足が完全に退化した鯨類の骨盤骨周囲を観察しています。また、何故ストランディングしてしまうのか?を、病気という観点から迫っています。



研究者に 聞いてみました!

- 1) 専門は何ですか
「病気」と「形」にまつわるエトセトラです。
- 2) 自身の研究内容と社会、一般との接点は
ストランディング原因を知りたい!という思い。

3) 研究する上で一番大事だと思うことはなんですか

物事を色々な角度から見るができる頭の柔らかさ。

4) 研究する上での苦労や悩みなどはありますか
慢性的な人手不足、体力の衰え、全てのストランディング個体に対応できていないこと。